

宗岡二中だより 10月号



令和4年9月30日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒



実りの秋

校長 中平 仁

秋らしい陽気の日が次第に増えてきました。毎年のことですが、秋は読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋など、あらゆることへの取組みが、最もはかどりやすい季節と言われていています。感染対策を講じながらという条件を付けなければなりません、宗二中の皆さんの秋が、実り多い秋になってくれることを願っています。この10月に、学習、行事、部活動など、それぞれの目標に向けて努力する皆さんの姿を、たくさん見たいと思っています。特に10月には「合唱コンクール」が予定されています。3年ぶりの開催になります。感染症対策のため、3学年がそろって体育館に集まっての実施とはなりません、生徒たちは合唱を通してクラスの気持ちを一つにしようとしています。実行委員集まり、今年度のスローガンを考え、どのような合唱コンを作り上げていこうかと話し合っています。各学級では実行委員を中心に、クラスで歌う合唱曲を選曲するとともに、各パートのリーダーを決め、パートごとの練習を重ねて、新人戦後には、各パートの歌声の調和を図りながらの本格的な練習が始まります。

中学校の合唱の良さは、3年間のなかで成長とともに声の質も変わっていく中で出来上がっていく喜びがあることです。初々しい1年生の発声が、学年が上がるごとに大人に近い声になっていき、澄んだ女子の声、力強い男子の声が美しいハーモニーを生み出していく中に成長の証を感じることができます。



発表当日まで練習を重ねていくなか、各クラスでさまざまなドラマが展開されます。クラスの仲間と励ましあい、支え合う姿が見られます。このことを通して、生徒たちは人と関わることの大切さを学んでいきます。当日は、賞が決まることになりませんが、クラスが一つにまとまり、悔いのない合唱を創り上げた時に生徒が流す喜びの涙に、合唱コンを通して見られる生徒の成長を感じ取ります。当日は、思い出に残る感動的な合唱が体育館いっぱいに響き渡ることと思います。